

会 議 録

会議の名称	平成30年度 第1回 和泉市社会教育委員会議
開催日時	平成30年 7月24日 （火） 14:00 ～ 15:00
開催場所	和泉市コミュニティセンター 4階視聴覚室
出席者	社会教育委員（7名出席）
会議の議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委嘱状交付及び委員の紹介 2. 教育長挨拶 3. 教育委員会事務局組織及び事務局職員の紹介 4. 議案 議長及び副議長の選出について 報告 （1）平成30年度社会教育委員会議・研修等のスケジュールについて （2）平成30年度生涯学習部関係の主な事業の概要について （3）文化芸術振興条例について 5. その他
会議の主旨	社会教育委員は、社会教育法第17条の規定に基づき、社会教育に関する諸計画を立案し、教育委員会の諮問に応じて意見を述べるため、定時又は臨時に会議を開催する。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（次回会議出席者の確認を得ている）
その他の必要事項	

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

(司会進行：事務局)

1. 委嘱状交付及び委員の紹介

任期満了により、教育長から委嘱状を交付

・事務局より会議開催についての説明

本会議は公開することとなっているが、本日の会議は傍聴希望者がいないことを報告
携帯電話をお持ちの方は、地震発生の際、緊急地震速報を受信する可能性があるため、電源は切らずに、マナーモードに設定を依頼
節電対策の一環として5月1日から10月31日まで職員はクールビズを実施している旨説明
会議資料の確認

・社会教育委員の紹介

事務局から各委員の紹介

5号委員の市民公募による委員は、応募者に基準に達する者がいなかったため、「該当者なし」となっている。

2. 教育長挨拶

3. 教育委員会事務局組織及び事務局職員の紹介

事務局から資料に基づき教育委員会事務局組織について説明。事務局職員の紹介

・事務局より出席委員数の確認

委員総数9名のうち、出席委員7名、欠席者2名となっており、和泉市社会教育委員会議規則第5条の規定に基づき本会議は成立していることを報告

4. 議案

・議長及び副議長の選出

(事務局) 和泉市社会教育委員会議規則第2条の規定では、委員の互選により議長・副議長を選出することとなっているので、委員の皆様にお計りいたします。

(委員) 過去2年間円滑な議事運営に努めていただいたので、引き続き議長は桃山学院大学の岩田様、副議長は大場様をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

⇒異議なしの声

議長は岩田委員に、副議長は大場委員に決定。

(司会進行：岩田議長)

報告(1) 平成30年度社会教育委員会議・研修等のスケジュールについて

事務局から資料に基づき説明。本年9月7日に近畿地区社会教育研究大会が和歌山市で開催。以降、日時は未定であるが、大阪府社会教育研究会議、今年度和泉市が幹事市となる泉北・泉南地区社会教育委員研修会及び第2回社会教育委員会議が予定されている。それぞれ詳細が決定次第、案内させていただく。

これらの計画以外にも、本委員会議での審議が必要なテーマが発生した場合には、随時、会議の開催をお願いすることになる。

報告(2) 平成30年度生涯学習部関係の主な事業の概要について

【生涯学習課事業説明】

(所管13事業について説明)

コミュニティセンター管理運営事業、予算額6347万8千円、施設の維持管理と文化活動及びコミ

ユニティ活動のための貸館業務を実施するもの。施設の管理運営に関しては指定管理者に委託。今年度は、エレベーターの改修工事や多目的ホールの移動観覧席修繕等を行うため、昨年度よりも予算が増額となっている。

文化芸術振興事業、予算額3980万円、市民の自主的な文化芸術活動促進のため、和泉市文化協会、生涯学習センターの指定管理者などに補助金を交付するもの。

市民文化祭事業、予算額386万1千円、市民文化の向上と発展を促進するため、毎年10月から12月に市民文化祭を実施するもの。

生涯学習センター管理運営事業、予算額3億3150万4千円、生涯学習センター及び生涯学習サポート館の施設の維持管理と各種教室・ホール事業等を実施するもの。施設の管理運営に関しては、指定管理者に委託。今年度は生涯学習センターの駐車場管理システムの改修工事を行うため、昨年度よりも予算が増額となっている。

社会教育研究調査事業、予算額245万6千円、市PTA協議会に活動補助金を交付するなどの支援を行い、また、社会教育活動の振興・発展を図るために必要な調査・研究を実施するもの。

生涯学習講座事業、予算額184万4千円、市民の生涯学習機会の充実を図るため、各種講座等を開催するもの。

識字施策推進事業、予算額318万円、和泉市識字推進指針に基づき、識字施策を推進するため、識字教室等を開催するもの。

生涯学習推進計画進行管理事業、予算額471万8千円、第2次和泉市生涯学習推進プランの進行管理や、いずみ市民大学の運営を行うもの。

留守家庭児童会運営事業、予算額4億3753万7千円、児童福祉法に基づき、小学校において放課後、保護者が労働等により留守家庭になる児童の保育を実施するもの。今年度は、利用児童数の増加に対応するため、7クラス増設し54クラスで運営し、また、31年度以降の児童数の増加等に対応するため、黒鳥小学校及びいぶき野小学校で留守家庭児童会用のプレハブ教室の建設することとなっており、予算が昨年度よりも増額となっている。

青少年健全育成支援事業、予算額550万9千円、青少年の犯罪防止やこども110番の家運動、地域における青少年指導者の育成等を図るもの。

成人式事業、予算額194万5千円、新成人を祝い、励ますため「はたちのつどい（成人式）」を実施するもの。

放課後子ども教室推進事業、予算額434万2千円、地域の全ての子どもを対象として、放課後や週末の安全で安心な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共にスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを推進するもの。

青少年の家・榎尾山森林浴コース管理運営事業、予算額4352万5千円、青少年の家及び隣接いたします榎尾山森林浴コースの管理運営を実施するもの。

以上が生涯学習課所管の事業です。

(委員) 18歳成人になった場合、成人式はどのように開催されるか。

(生涯学習課長) 現在は未定。2022年4月1日に法律施行となるので、国の考え方が示された後に対応を判断する。

【青少年センター事業説明】

(所管4事業について説明)

青少年センター管理運営事業、予算額795万7千円、青少年センターの管理運営に要する費用等。

青少年学習活動推進事業、予算額322万7千円、青少年の学習・体験活動や他地域間交流等を図る様々な講習会などを開催するもの。

青少年自主活動支援事業、予算額94万1千円、青少年が自ら考え主体的に行動する力を育成するための、講座等を開催するもの。

青少年センター子育て支援事業、予算額1761万1千円、小学校低学年児童を対象とした子どもすこやか広場事業、また18才以下を対象とした子ども電話相談の開設や、子育て世代への支援として講習講座を開催するもの。

以上が青少年センター所管の事業です。

(質疑なし)

【文化財振興課事業説明】

(所管7事業について説明)

文化財調査研究事業、予算額1178万5千円、文化財の調査研究に要する費用。

文化財保護事業、予算額1195万2千円、指定文化財の保護に要する費用。昨年度より3ヵ年計画で重要文化財聖神社本殿の屋根修理を実施している。

市史編さん事業、予算額1181万6千円、市の歴史文化財を調査研究し、その成果を市史にまとめ郷土学習に活用するもの。本年度は市史本編「和泉市の歴史第7巻<テーマ編2 近世>」を刊行する。

史跡整備事業、予算額5862万5千円、国指定史跡池上曾根遺跡や和泉黄金塚古墳などの整備と活用を行うもの。今年度は池上曾根遺跡の史跡指定地を取得する予定。

歴史遺産活用事業、予算額320万円、ふるさと空間づくり事業から名称変更したもので、文化財を活用した地域活性化事業をすすめるもの。

史跡公園管理運営事業、予算額2634万円、池上曾根史跡公園並びに信太の森の鏡池史跡公園の管理運営に要する費用で、歴史文化学習の場を提供するとともに地域住民の交流の場として活用するもの。本年度は、信太の森ふるさと館常設展示のリニューアルを実施する。

いずみの国歴史館管理運営事業、予算額946万5千円、歴史文化資料を収集・保管し、展示や講座等を開催することにより本市の歴史文化を紹介するもの。市内小学生を対象にした芸術文化科学ふれあい体験事業を、学校教育指導室、久保惣記念美術館と共同で実施。常設展示は4月28日にリニューアルを実施。

以上が文化財振興課所管の事業です

(質疑なし)

【久保惣記念美術館事業説明】

(所管1事業について説明)

美術館管理運営事業、予算額1億2125万8千円、日本及び中国などの美術工芸品を収集・保存し、美術の素晴らしさや豊かさに親しめる展覧会等を実施するもの。主な展覧会として、特別展「土佐派住吉派ーやまと絵の荘重と軽妙ー」、特別陳列「所蔵名品撰久保惣コレクションの絵巻ー」がある。この他、西洋古地図や浮世絵版画コレクションによる常設展を年4回開催する。

以上が久保惣記念美術館所管の事業です。

(質疑なし)

【読書振興課事業説明】

(所管2事業について説明)

図書館管理運営事業、予算額3億5950万7千円、市民に情報や快適な読書空間を提供するため、和泉図書館、シティプラザ図書館、北部リージョンセンター図書室及び南部リージョンセンター図書室は指定管理者制度により管理運営するもの。今年度は、和泉図書館開館40周年、シティプラザ図書館開館15周年及び南部リージョンセンター図書室開室10周年を記念して、特別講演会を開催するほか、子どもたちが読書に親しむきっかけとなるよう、読み終えた本の書名等を印字できる通帳型の読書記録帳を発行する。

子どもの読書活動推進事業、予算額93万5千円、子どもの読書活動推進のため、講座・講演会や「和泉市子どもの読書活動推進協議会」を開催するとともに、更なる子どもの読書環境の充実に向け、新たな「第3次和泉市子どもの読書活動推進計画」を策定するもの。

以上が読書振興課所管の事業です。

(質疑なし)

【スポーツ振興課事業説明】

(所管4事業について説明)

スポーツ普及振興事業、予算額2076万6千円、主に、市内体育施設と小・中学校体育施設開放によりスポーツの環境と機会を提供し、地域スポーツ、生涯スポーツの普及・振興に努め、また、スポーツ推進委員によるスポーツ指導や各種スポーツ教室の充実を図るため、講習会等を開催するもの。

健康増進・体力向上事業、予算額503万1千円、キッズスポーツフェスティバルや歩こう会等のスポーツレクリエーション活動、またプロスポーツを観戦する機会を創出する和泉市民観戦デーを通じて、健康保持・増進、豊かな地域社会作りと地域交流を図るもの。

体育施設管理運営事業、予算額1億8433万4千円、主に北部運動施設である市民体育館、槇尾川公園テニスコート、光明池地区運動施設であるコミュニティ体育館、光明池緑地運動場、光明池球技場と温水プール及び総合スポーツセンター(愛称:関西トランスウェイスportsスタジアム)を管理運営する費用で、指定管理者を指定し、効率的な管理運営を行うとともに、体育施設の営繕工事等を行うもの。

総合スポーツセンター整備事業、予算額2700万円、昨年5月に全面オープンした総合スポーツセンターについて、今年度は敷地内に駐車場・バイク置き場等を整備し、スポーツを通じた健康増進と交流機会の創出に努めるもの。

以上がスポーツ振興課所管の事業です。

(質疑なし)

報告(3)文化芸術振興条例について

【生涯学習課から概要説明】

文化芸術振興条例は、「和泉躍進プラン(案)」及び「第5次和泉市総合計画」に条例制定を検討する旨が掲げられ、平成27年度第2回社会教育委員会議で条例制定を検討することを報告した。その後、府下の自治体に照会等を行うなど、検討を進めていたが、国において、文化芸術振興基本法を一部改正した「文化芸術基本法」が平成29年6月に施行、今後の文化芸術政策の目指すべき姿や以後5年間の基本的な方向性を定めた文化芸術推進基本計画(第1期)が策定された。文化芸術基本法には、都道府県及び市町村は、国の基本計画を参酌して地方の実情に即した文化芸術推進に関する計画を定めるよう努めることとし、計画その他の文化芸術の推進に関する重要事項を調査審議するための審議会を、条例で定めるところにより置くことができるとされている。

大阪府においては、国の法改正に先立って、大阪府文化振興条例が平成17年4月に施行され、これまで3次にわたり文化振興計画を策定し、現在は平成28年度から平成32年度までを計画期間とする第4次計画の期間中となっている。大阪府では、国の法改正・基本計画を反映した新たな計画策定の予定は無く、平成33年度を計画初年度とする第5次計画の策定の際に、国の基本計画の内容を盛り込んだ計画にする予定とのこと。

府内自治体の条例制定状況は、文化庁によると平成28年10月現在、府内33市9町1村中、大阪市、堺市、岸和田市、泉大津市など12市1町で文化振興のための条例が制定され、条例を制定した自治体は、条例の理念を実行に移すため、推進計画を策定し、計画の進捗管理等のための審議会が設置されている。

これらの状況を考慮したうえで、市の考え方を示させていただくと、まず、本市には文化芸術の推進に関する計画は定められていないため、文化芸術基本法に基づき、何らかの形で計画又はこれに類するものを策定する必要があると考えているが、文化芸術基本法では、条例制定や審議会設置の義務や計画策定までの期限は規定されていない。現在、本市では平成25年に策定した「第2次和泉市生涯学習推進プラン」に基づく取組みを進めているところで、生涯学習施策の推進に向けて設置された「生涯学習推進委員会」も設置されていることから、新たな条例制定・計画策定や審議会設置は行わず、他の自治体の計画策定状況も見極めながら、第2次和泉市生涯学習推進プランの後継計画を策定する際に文化芸術の振興を重点項目のひとつと位置づけ、生涯学習推進委員会において調査・審議を行うことにより、文化芸術の振興・発展に向けて取り組みたいと考えている。

「文化芸術振興条例」についての報告は、以上です。

(質疑なし)

5. その他

【久保惣記念美術館】

本年8月11日から9月24日まで開催予定の常設展「浮世絵の妖術とモノノケー「奇術競」と「和漢百物語」ー」の紹介。

(質疑なし)

(岩田議長) 本日の議事は全て終了しました。これもちまして本日の社会教育委員会議事を終了させていただきます。

平成30年8月1日